

GOOD DESIGN
AWARD 2020

「シーンズ塚口」が「2020 年度グッドデザイン賞」を受賞

新分譲マンションブランド「SCENES」第一号物件で受賞

2020 年 10 月 1 日

大阪ガス都市開発株式会社

大阪ガス都市開発株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：友田泰弘）は、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2020 年度グッドデザイン賞」を『シーンズ塚口（兵庫県尼崎市）』で受賞しましたのでお知らせします。

当社の分譲マンションブランド「SCENES(シーンズ)」は 2018 年にリブランドを行い、「人生に感動する一邸を。」のブランドスローガンのもと、「お客さまが日々新たな喜びを実感し、暮らすほどに人生の素晴らしさに感動できる一邸」を目指して開発を行っています。その第一号物件である「シーンズ塚口」での受賞となります。

今後も当社は、お住まいの方の声や社会のニーズを取り入れ、住まいやすさを追求した街づくりに努めてまいります。



シーンズ塚口 外観・庭

■ シーンズ塚口の特徴

シーンズ塚口の敷地は従前大阪ガスの社宅として利用されていました。社宅としての社会的使命を終えた地で、居住者だけでなく周辺地域からも親しまれる街区への再生を計画しました。

「Re:CONNECT(つながる)」をコンセプトに、社宅利用時からの配棟構成を見直し、開放性を向上させることで地域との交流を促し、人とまちとのつながりを創出。また、敷地内に異なったテーマを持つ3つの庭(北庭・中庭・南庭)を計画し、豊かな自然に包まれる生活舞台を介した、地域・世代を超えたつながりを創出。家庭用燃料電池「エネファーム」を始めとした創エネ機器を多数採用し、西日本では初の容積不算入特例を活用した低炭素建築物認定を取得。環境貢献とエネルギーの共有化を図り、防災への配慮とともに、安心・安全な生活という次代の価値観へのつながりを創出。

それぞれがつながり、五感に響き、豊かさを産む物件を計画しました。

Re:CONNECT

まちと緑と未来が「つながる」、暮らしに新たな価値を。

まちと
つながる
周辺環境と「つながる」
共生・交流を促す
新街区

緑と
つながる
地域や人と「つながる」
五感を刺激する
3つの庭

未来と
つながる
安心の未来へ
「つながる」
先進の環境・防災性能

まちとつながる 配棟を一新し、地域環境と「つながる」まちへ

従前の社宅団地の配棟計画を一新し、開放的で緑豊かな街並み美化に貢献した。

敷地の隅から建物を充分にセットバックさせ、安全性および開放性を向上

緑とつながる 地域や人と「つながる」3つの庭

異なったテーマを持つ3つの庭を配し、豊かな自然に包まれながら、地域・世代を超えて触れあえる生活舞台を創造。

〔北庭〕
水と緑と暮らしが「つながる」
アクアガーデン

〔中庭〕
外と内、都市と私邸が「つながる」
シーズンズコート

〔南庭〕
六甲山系や都市公園の緑と「つながる」
パークサイドコリドー

未来とつながる 安心・安全な未来と、次代の価値観に「つながる」ライフスタイルを追求。

低炭素建築物認定を取得した先進の「創エネ×省エネマンション」。「防災自立機能」や「シェアリングサービス」も導入し、一歩先ゆく邸宅性能を追求した。

暮らしの楽しみや歡びを入居者同士シェアできるサービスを提供。

「低炭素建築物認定」を取得した先進の「創エネ×省エネ」仕様。

電気を自ら作り出す「創エネマンション」マンション全体の消費量(※)より、多くの電力を発電

※総消費量については本マンションの認定消費電力量を基準に計算

西日本初

シーンズ塚口 コンセプト「Re:CONNECT(つながる)」

■ 審査員のコメント

配置計画により、地域に開かれたランドスケープを実現しているのが素晴らしい。とくに3種類の庭は、それぞれ楽しみ方も異なりそうで、実際の使われ方への興味が湧く。一方で、実際の細やかな設計が生み出す具体的なつながりについては、今後の実際の供用が進んだ時点での経過に関心が持てそうだ。

【シーンス塚口 物件概要】

- 名称 : シーンス塚口
- 所在地 : 兵庫県尼崎市東塚口町一丁目 15 番 1
- 敷地面積 : 6,308.18 m²
- 構造・規模 : 鉄筋コンクリート造地上 15 階建
- 総戸数 : 166 戸
- 事業主 : ※共同事業物件
大阪ガス都市開発株式会社、近鉄不動産株式会社、阪急阪神不動産株式会社
- 設計会社 : 株式会社 IAO 竹田設計
- 施工会社 : 株式会社鍛冶田工務店